

1 仏教公伝と崇仏・廃仏論争

朝鮮半島では、長く高句麗・百済・新羅は互いに連携・抗争を繰り返していた。

6世紀半ばの、継体天皇没後から欽明天皇の時代に、はじめて仏像が百済の聖王により伝えられた。

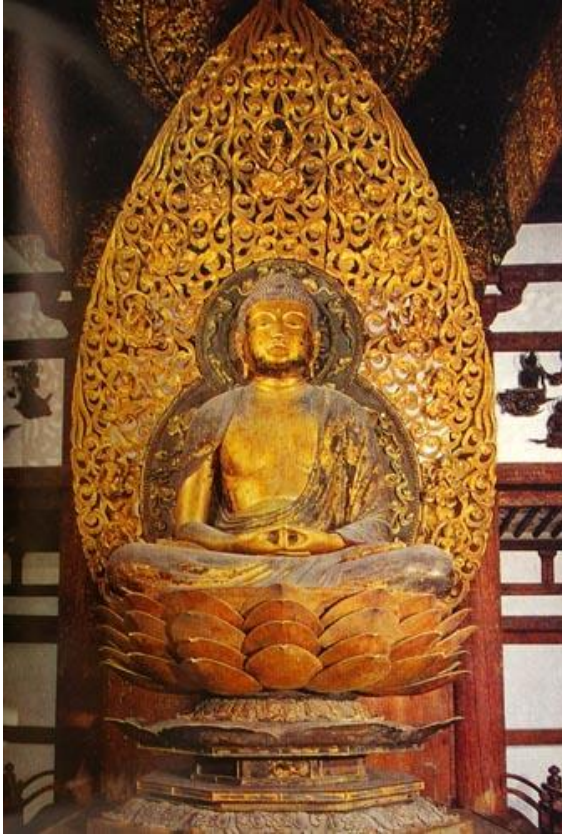
崇仏・廃仏論争

仏教受容を巡って政治闘争が繰り広げられたが、蘇我氏が支援した推古天皇が即位すると、蘇我馬子によって氏寺・飛鳥寺が建立され、聖徳太子（厩戸皇子）は馬子と協力して四天王寺・法隆寺を建立するなど仏教的道德観に基づいた政治を行った。

2 日本仏教の展開

奈良時代の仏教は国家鎮護を目的とするものであった。平安時代になると、最澄（天台宗）、空海（真言宗による密教）の登場や末法思想・浄土信仰の隆盛などがあり、貴族層や都周辺の人々に仏教信仰は拡大しはじめた。

平安時代末期の天喜元年（1053）に作られた平等院鳳凰堂の「阿弥陀如来坐像」は、平安時代の最高の仏師定朝によって制作された丈六の仏像であり、それまでの仏像の完成形であるが、あくまでも貴族社会を背景としたものであった。



定朝の阿弥陀如来坐像は、静かでバランスがとれていて、不要なものを全て削ぎ落とした究極にあるように思えます。同時にこの作成を依頼した人々の希望や暮らし振りを反映したものでしょう。

その後、仏教が全国的に庶民にまで普及するのは、中世以降、鎌倉仏教の登場による武士や庶民階層への普及を待たなければなりません。それ以降、日本独自の仏教が発展していきます。

3 興福寺について

運慶の誕生年については明らかではありませんが、およそ 1150 年ごろと推定されます。治承 4 年（1180）、平清盛の命を受けた重衡（しげひら）の軍勢が

放った火によって東大寺、興福寺の主要伽藍（がらん）が焼失しました。平氏が政治を牛耳っていた時代から、源氏（鎌倉武士）の世に移り変わる時期の出来事です。興福寺はその創建以来、藤原氏の氏寺として大いに栄え、春日神社を管理し、強力な僧兵と大和武士を抱えて大和地方を治めていました。平氏は、その勢力を排除しようとしたのでした。

興福寺が消失した後の再建に父康慶とともに働いたと考えられます。仏師という職業集団は、この時代は京都と奈良に分かれ、興福寺を中心とした集団は「慶派」と呼ばれます。

4 仏像の種類

仏像には呼び名があり、**如来、菩薩、明王、天部**の4つに大別されます。

(1) **如来**（によらい） 悟りを得た者の意。ブツダともいう。4分類される

- ・釈迦如来・・・ゴータマ・シッダールダの姿であり、悟りを説く姿。
- ・阿弥陀如来・・・極楽へ往生させてくれる。臨終の際に名(南無阿弥陀仏)を唱

えれば、極楽から弟子の菩薩25人)を従えてお迎えに来る

- ・薬師如来・・・左手に薬壺（やつこ）を持ち、身体と心の病気を癒してくれる

右手を挙げて患者を癒している

- ・大日如来・・・密教にのみ登場する特殊な如来で最高仏。宇宙そのもの

別名、毘盧遮那（びるしゃな）如来で奈良の大仏が代表

(2) **菩薩** (ぼさつ) 多くの種類があり、修行中の姿で他者を救う“行”をして

いる姿。基本的に立ち姿で表され、瞑想姿はない。

- ・ **文殊菩薩**…智恵の仏。釈迦の實在の弟子で高名な賢者。
- ・ **普賢菩薩**…慈悲の仏。普賢の意味は「普遍の教え」。女人往生を説いた。
- ・ **勢至菩薩**…智恵の仏。水瓶 (すいびょう) を持っている
- ・ **観音菩薩**…慈悲の仏。大変多くの種類がある。観音は教えを説く時に、

それぞれの人に適した姿に変身して現れる。

- ・ **六観音** 聖観音、十一面観音、千手観音、馬頭観音、如意輪観音、

不空縹索観音

- ・ **弥勒菩薩**…56億7千万年後に世界を救いにくるが、それまで瞑想を続ける
- ・ **地藏菩薩**…釈迦の死と弥勒降臨との間の無仏世界 (つまり現代) を救済する

ために現れた

(3) **明王** (みょうおう) 修行する者を煩惱から守る仏で、不動明王のほか

シヴァ神が起源のものがある。

- ・ **不動明王**…修行者を護り、必死の形相で煩惱から人々を助け出す

(4) **天部** (てんぶ) 魔物から仏界&仏法を守る。元はヒンズー教などの

仏教に帰依した他宗教の神々

- ・ **梵天**…ヒンズーの最高神、・ **帝釈天**… 戦闘部隊の総大将

・**金剛力士** (仁王) …口を開いて魔物を恫喝しているのが阿形 (あぎょう) 像、

口を閉じているのが吽形 (うんぎょう) 像

・吉祥天、・弁才天…弁天とも(女神)、・鬼子母神…安産 & 子供の守護神

・大黒天

・**阿修羅**…帝釈天と互角に渡り合った悪の最強戦闘神

・**四天王**…甲冑 (かっちゅう) をつけ、足元に邪鬼を踏みつけている像が大半。

全員が帝釈天直属の部下。

東→持国天、南→増長天、西→広目天、北→**多聞天 (毘沙門天)**

5 その他の仏像

・高僧 10 大弟子、無著・世親、五百羅漢、重源上人

・その他 12 神将、八大童子、石仏、塑像 (そぞう：粘土) 彫刻

6 三尊 如来像と2体の脇侍 (おもに菩薩像)

釈迦三尊 = 釈迦如来と文殊菩薩・普賢菩薩 / 帝釈天と梵天

阿弥陀三尊 = 阿弥陀如来と勢至菩薩・観音菩薩

薬師三尊 = 薬師如来と月光菩薩 (向かって左の智慧の仏) と

日光菩薩 (右、慈悲の仏)。十二神 (将薬師如来の警護担当)

7 豆知識

※玉眼（ぎょくがん）

運慶展では「毘沙門天立像」、八大童子立像の「制吒迦童子」などで特徴的な仏像の目に水晶をはめ込み、生き生きとした姿を見せてくれる技法です。鎌倉時代から普及が始まりましたが、その技法をはじめて取り入れたのは長岳寺(奈良県)の阿弥陀如来像とされ、1151年の作像とされます。

目立ちませんが、無著・世親さんも玉眼です。

※丈六（じょうろく）

《釈迦の身長が1丈6尺（約4.85メートル）あったというところから》1丈6尺。また、その高さの仏像。座像の場合は半分の8尺に作るが、それも丈六といい、また、丈六より大きいものを大仏という。

※阿吽（あうん）

インドの古典文字サンスクリットの a-hum の音を写した言葉。阿形は息を吐き、吽形は息を吸っていることで、「万物」を表現している。2神は一心同体であり“あ・うんの呼吸”の語源となっている。

8 おすすめ文献

仏像—日本仏像史講義（別冊太陽）2013/3 山本勉 平凡社

同名の文庫本がありますが、写真が多いので平凡社のものがお勧めです。